

佳作 優しい人



田 雨
TIAN YU

国籍 中国
職種 溶接
実習実施者 広島精研工業株式会社
監理団体 ディ・エイチ・エス交流協
同組合

この作文を書く時私はテーマを決めていません。音楽が好きで、日本の歌手の米津玄師が好きです。この作文の題名は彼の歌です。でも、物語は私のです。

今年は日本で三年目です。去年はこの時期は新型コロナで全国民が自粛しています。二〇二〇年は悲しい年となりました。

二ヶ月前に自分で料理を作っていた時、誤って天ぷら油をひっくり返しました。左足の火傷面積は大体七〇％以上で、女の子にとってどれだけ残酷なことか、涙もコントロールできなくなりました。

毎日病院に送り迎えに来たのは組合の先生です。彼女は妊娠して六ヶ月以上になりました。私が怪我をしたのでもっと忙しくなりました。薬を交換する時私は見れません。医師の厳しい表情と相まって、緊張と恐怖があります。彼女はいつも私を励ましてくれます。長い時間優しい先生がくれた温もりに感謝しています。

病院のお医者さんは七〇歳ぐらいの日本のおじいさんです。彼はとても真面目で、彼に質問するたびに、一言二言で終わります。このように厳格なおじいさんです。この病院は木曜日で日曜日が休みです。怪我をしたこの

三週間の間、おじいさんは一日も休みがありませんでした。休みの日も私のために病院を開けて薬を交換してくれました。

次は私達の実習生の話です。実習生はいつも節約しています。先輩たちは怪我をしたと聞いて、果物や中国風の北京ダックをたくさん買いました。日本の果物は中国の価格より高いです。早く健康になるように、たくさんの物を買ってくれました。これらを受け取った瞬間、私は本当に嬉しく感動しました。

私達の会社にはお姉さんがいます。面白い人です。彼女は一番助けてくれました。私の寮のポストに彼女からの封筒が入れてありました。開けたら、一万円でした。お金をもらった時、感動して泣きました。彼女は日本に二十年以上住んでいます。今は自分一人と私と同じ年の一人息子がいます。彼女の生活状況を知っています。苦しい生活の中で私にお金を渡して本当に優しさが伝わりました。

最後の一人は日本の友達です。彼は可愛くて面白いです。目が大きいです。私達が友達になったのは漢字です。日本についてよく聞きました。当時日本語が下手で、分からない時は漢字で筆談します。怪我をした時はいつでも助けてくれると言っていました。魔除けのペンダントをプレゼントしてくれました。優しくて善良な彼がずっと幸せになることを望んでいます。

怪我をしたのはもともと自分です、皆さんの暖かさに感動しました。組合の先生は私が優しい人だから、たくさんの優しさをもらったと言いました。優しい人は性別と関係なく、国籍は関係ないです。この三年間の時間を輝かせてくれてありがとうございます。これらの思い出は一生記憶に残ります。